

OpenStorage研究会検証計画案

Draft 1

2012年3月9日
OpenStorage研究会

目次

1. OpenStorage研究会の方針
2. 作業実施方針
3. スケジュール案
4. 活動内容と成果物（案）
5. 使用環境とイメージ
6. 協力者募集

1. OpenStorage研究会の方針

オープンクラウド実証検証タスクフォースの実施趣意書に則り、OpenStorage基盤の構築運用及び、OpenIaaS基盤からの利用など他の技術との連携についての情報を成果物とする。本活動によってOpenStorage基盤の運用・検証の機会を創出し、技術者の成長に貢献する。

課題

OpenStorageの情報不足

技術者不足

運用実績・ノウハウ不足

検証が困難

環境構築・運用が困難

試験環境と実環境の違い

目的

情報の蓄積

OpenStorage技術者の支援

ノウハウの蓄積および公開

検証の機会創出

研究会での環境構築・運用

実環境での運用

成果物

機能・性能評価

大規模環境での評価結果

運用を通じての評価結果

情報発信

OpenStorageの評価結果

構築・運用ドキュメント

用途に応じた
ベストプラクティスの提示

2.作業実施方針

本OpenStorage 研究会は以下の3つを重視して活動する

連携

- ・他研究会への基盤提供と利用
- ・OSSコミュニティ等への貢献
- ・運用など、個人では難しい活動の実施

運用

- ・個人では本格的な運用が難しい
- ・運用を通し、実用性を評価
- ・実運用の際の課題を洗い出す

文書化

- ・ドキュメントの作成
- ・ノウハウを文章として蓄積
- ・情報発信

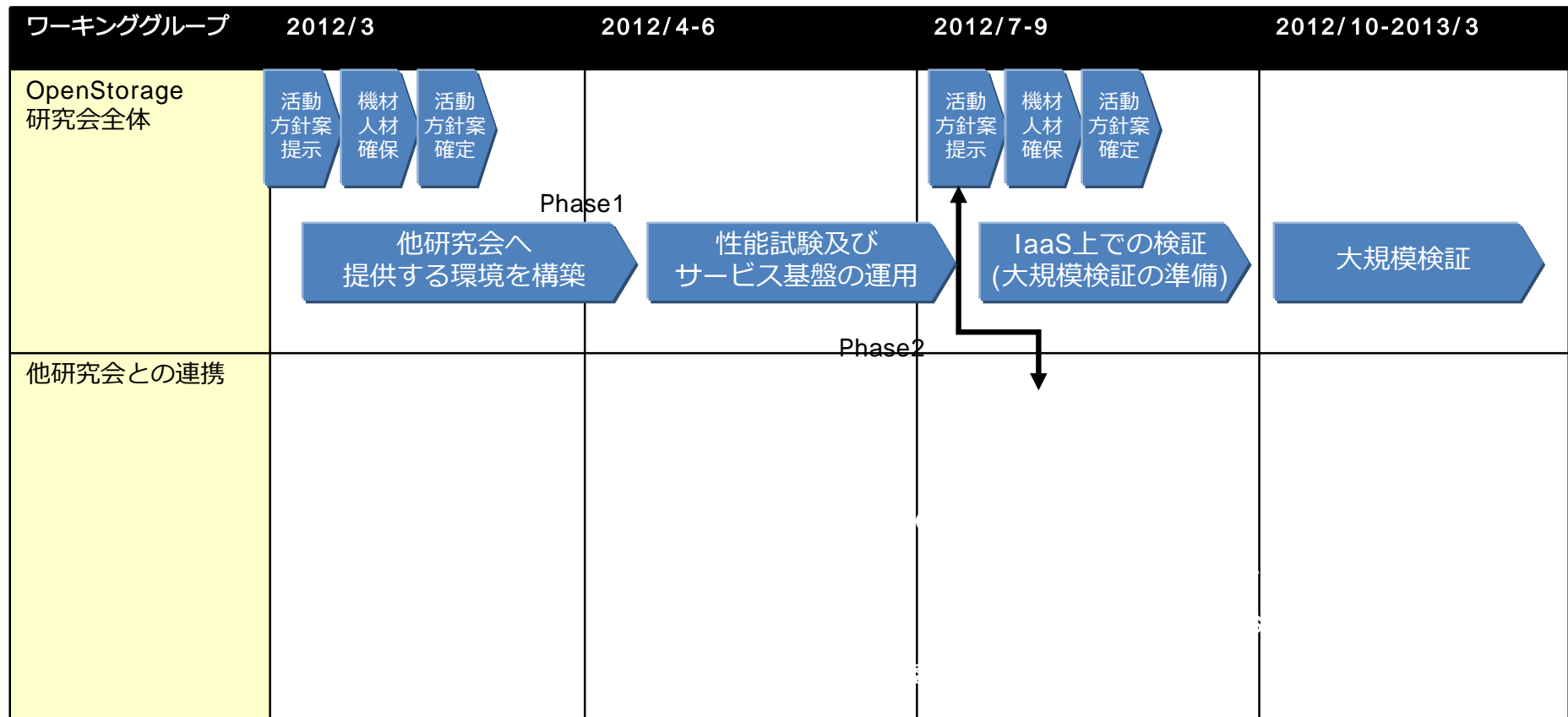


3.スケジュール案

以下に、OpenStorage研究会の作業スケジュール案を示す。

- OpenStorageの検証環境（Swift, Gluster等）構築
- 各種研究会へのStorage基盤提供および、そのための構築・運用ノウハウの蓄積
- IaaS基盤を用いた大規模検証の実施

活動内容および成果物については、以降で説明。



4.活動内容と成果物 – 1 (案)

前期は以下の内容で活動を行う

【敬称略】

<p>■ 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 物理サーバを用いた性能評価・ 他研究会への基盤提供・ 運用における課題の洗い出し <p>■ 成果物</p> <ul style="list-style-type: none">・ インストール手順書、ベンチマーク結果、運用ノウハウ	
Swift	<p>主担当：松井</p> <ul style="list-style-type: none">・ IaaS研究会に提供するSwift構築、連携する上でのノウハウ蓄積・ Keystoneの使用やCloudStackへの提供等、IaaS研究会と情報交換・ ベンチマーク
Gluster	<p>主担当：高橋</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他研究会に提供するGluster構築、連携する上でのノウハウ蓄積・ ベンチマーク

4.活動内容と成果物－2（案）

後期は以下の内容で活動を行う

【敬称略】

■ 作業内容

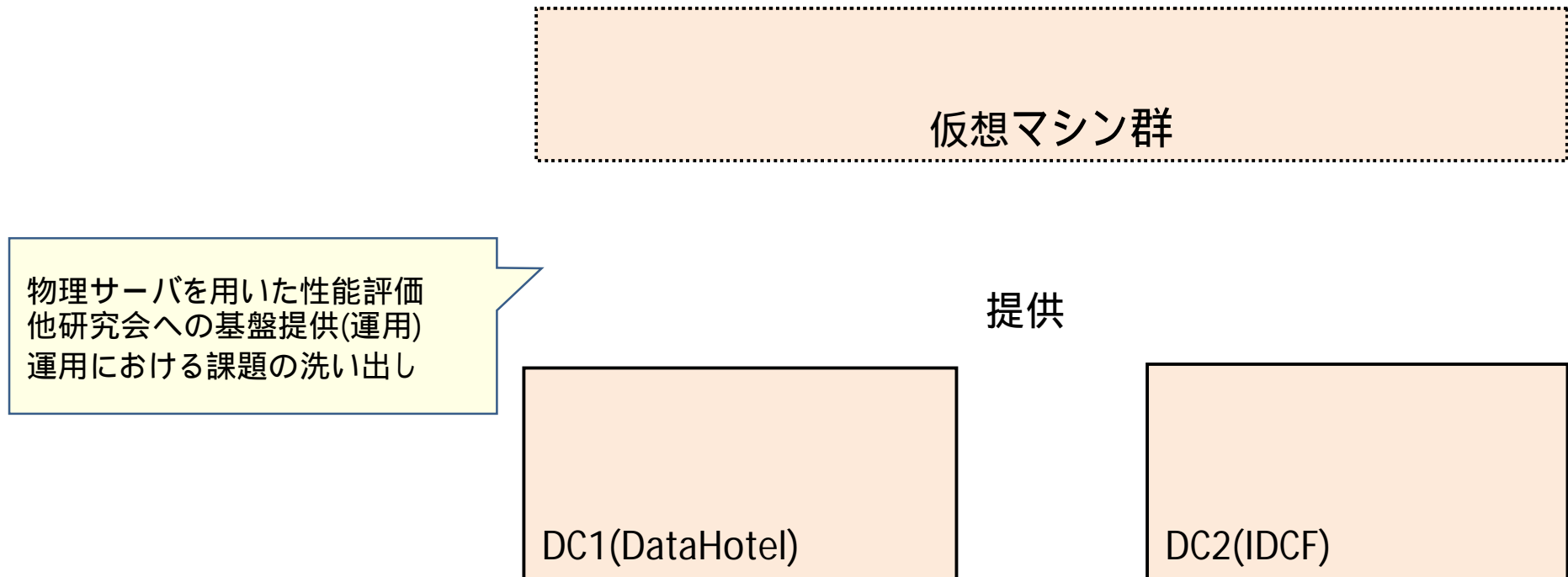
- ・ 他研究会へ提供するOpenStorage基盤の運用(phase1から継続)
- ・ 大規模実験の準備(制御や結果収集の仕組みを確立)
- ・ 多数のVMによる大規模実験を実施
- ・ 広域分散ストレージシステムの構築(OpenNetwork研究会と連携)

■ 成果物

- ・ 実験支援プログラム、大規模実験結果、運用ノウハウ

5.使用環境とイメージ

OpenStorage研究会で構築する想定環境と用途を以下に示す。



6. 協力者募集

OpenPaaS研究会では、参加者を募集しています。

- ストレージ技術に興味をお持ちの方
- 広域分散ストレージシステムを実現したい方
- 機材を提供してくださる方(特にGluster用)
- 技術的なアドバイスをくださる方